

第2版

エコアクション21

環境活動レポート

「平成22年度」

活動期間：平成21年6月1日～平成22年5月31日



平成22年9月『新社屋落成』

平成22年10月25日

SHOWA

昭和工機株式会社

<目次>

1	事業概要	P 1
2	実施体制	P 2
3	環境方針	P 3
4	環境目標値	P 4
5	平成22年度・環境目標値	P 5
6	環境活動計画	P 6~7
7	環境活動・運用期間（8月~11月）	P 8~9
	「取組み結果の評価」	
8	環境関連法規等への違反・訴訟有無	P 10
9	環境問題の是正処置・予防処置	P 11
10	代表者による評価及び見直し	P 12

1.事業概要

1 会社概要

会社名 : 昭和工機株式会社
所在地 : 郵便番号: 424-0847
: 静岡市清水区大坪1-5-17・(平成22年9月末日完成)
: TEL: 054-346-9181
: FAX: 054-346-9990
設立 : 昭和44年10月
資本金 : 1,000万円
代表者 : 代表取締役 稲垣継年
株主 : 稲垣継年・稲垣克晃・稲垣 均・稲垣芳江
環境管理責任 : 稲垣克晃
担当者連絡先 : 藤井義人 E-mail y-fujii@showa-koki.co.jp
従業員数 : 20名
地域指定 : 近隣商業地域
敷地面積 : 468m²
建物面積 : 310m²
延床面積 : 620m²

2 沿革

昭和44年10月工具販売業として個人創業、常に顧客のニーズに応えながら取扱商品・業務を拡大しFA(省力化)システム設計・製作迄一括受注、県内全域を営業エリアとして、年商約22億円の規模に成長している。

3 製品概要 戦略

顧客の不便を解消する(トータルサポートの提供)設計、各種機械、部品の調達、組立、設置等を一括受注が出来る、体制を構築して。
FAシステムの高度化、複雑化の進展に伴い増加する為工具販売から各種機械、部品の販売、FAシステムの設計・製作へと、事業領域を更に拡大させて行く。

4, 事業規模

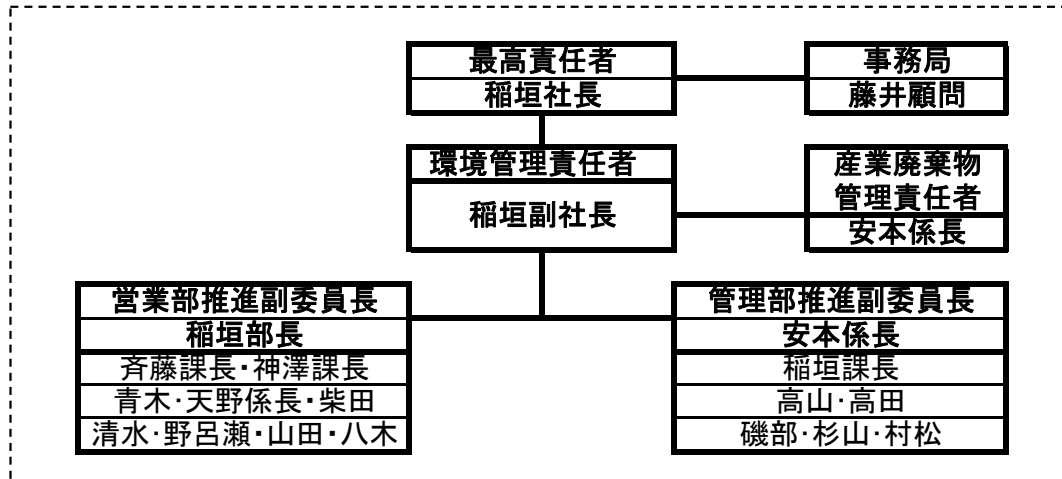
活動規模	単位	平成19年	平成20年	平成21年
売上額	百万円	17,790	21,540	20,151
従業員	人数	19名	21名	20名
延床面積	m ²	544m ²	544m ²	544m ²

5, 事業年度 6月1日～翌年5月31日

2.実施体制

(1)社長は環境経営システムを運用・実施する実施体制を構築する。

環境経営システムの実施体制



(2)社長は実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の通りさだめる。

①社長

- ・環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの制定並びに見直し
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境方針・環境目標の決定並びに見直し
- ・環境活動計画の承認
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金)準備
- ・緊急事態発生時の統括

②環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境方針、環境目標、環境活動計画の立案
- ・環境活動計画の推進状況把握と社長への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・環境経営システムに関する規定類の整備
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導
- ・社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供

③環境推進副委員長

- ・環境活動計画の推進と必要とする資源の準備
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理、監視・測定、記録管理

3. 環境方針

環境方針

< 基本理念 >

昭和工機株式会社は常にお客様に生産性、品質、信頼性、安全性の高い商品及びそれに係るシステムを提供する事により、お客様の事業において地球環境負荷の低減・資源の有効活用に資する事ができる、理念に基づいて事業活動を行う。

< 行動指針 >

- 1, 常にお客様には、生産性・品質・信頼性・安全性の高い商品及びそれに係るシステムを提案・提供する。
- 2, 昭和工機株式会社の事業活動においても、小さくはあるが環境負荷の低減を全社員で推進する。
 - ①省エネルギーによる二酸化炭素の排出量の削減
 - ②廃棄物の排出量の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④グリーン購入
- 3, エコアクション21(環境経営システム)活動により継続的に環境負荷の低減活動を推進する。
- 4, エコアクション21の活動を通じて、全社員の環境意識の向上を図る。
- 5, 該当する環境関連法令の遵守を徹底する、また全社員に遵法の意識向上を図る。

2009年3月10日
昭和工機株式会社
代表取締役 社長
稲垣継年

4.環境目標値

環境目標項目	推進部門	目標値	基準値	環境目標値				
		実績値	20年度	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	稲垣常務	目標値	1.8%削減	88,519	86,459	84,673	82,928	81,219
		実績値	90,142	87,740				
電力使用量の削減 単位:kwh	担当責任者	目標値	2.5%削減	47,057	45,881	44,734	43,617	42,527
	青木 磯部	実績値	48,264	38,191				
ガソリン使用量の削減 単位:L	担当責任者	目標値	2%削減	22,894	22,436	21,987	21,547	21,116
	高山 清水	実績値	23,361	25,399				
軽油使用量の削減 単位:L	担当責任者	目標値	2%削減	5,999	5,879	5,761	5,646	5,533
	高山 清水	実績値	6,121	5,533				
廃棄物排出量の削減 単位:kg	安本係長	目標値	2%削減	5,368	5,260	5,155	5,052	4,951
		実績値	5,478	5,080				
コピー紙使用量の削減 単位:枚数	担当責任者	目標値	2%削減	120,000	117,500	115,000	112,500	110,000
	稲垣 杉山	実績値	122,500	116,500				
缶、廃プラ金属削減 単位:kg	担当責任者	目標値	2%削減	0.196	0.192	0.188	0.184	0.18
	柴田 八木	実績値	0.20	0.128				
事業系一般廃棄物の削減・単位:kg	担当責任者	目標値	2%削減	2,244	2,199	2,155	2,112	2,070
	柴田 八木	実績値	2,290	1,625				
排水量・削減 単位:m3	稲垣課長	目標値	2%削減	753	738	723	708	694
		実績値	768	688				
社長が取上げた環境 負荷低減商品の提供	担当責任者	グリーンプロジェクト 対象商品		経営会議 決定	経営会議 決定	経営会議 目標確認	経営会議 目標確認	経営会議 目標確認
低減商品の販売 点数で計画	稲垣常務	目標値	商品点数	60点	60点	60点	60点	60点
		実績値		58点				
定期・商品勉強会 実施回数計画	稲垣常務	目標値	勉強会	年間6回	年間6回	年間6回	年間6回	年間6回
		実績値		1回+5回				
見える化・整理整頓 商品倉庫	担当責任者	目標値	年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	年間2回
	天野 高田	実績値		2回				
見える化・整理整頓 事務所	担当責任者	目標値	半期・実施	1/2半期	1/2半期	1/2半期	1/2半期	1/2半期
	天野 高田	実績値		2回				
検印			稲垣	稲垣				

5.平成22年度・環境目標値

作成者	管理責任者	社長
藤井	稲垣克	稲垣

期間:平成21年6月1日～平成22年5月31日

環境目標の項目	環境基準値(平成20年)	環境目標値(平成22年)	活動項目の具体的項目
二酸化炭素排出量・削減 kg-CO2	90,142kg-CO2を1,8%削減	88,519kg-CO2	化石燃料の削減・電力の使用量削減と活動の効率化により、削減を図る
電力使用量の削減	48,264kwhを2.5%削減	47,057kwh	消灯・冷・暖の温度設定等実践する
ガソリン・使用量の削減	23,361Lを2%削減	22,894L	アイドリング・ルートの見直しを練る
軽油・使用量の削減	6,121Lを2%削減	5,999L	効率ある配送を練る
廃棄物排出量の削減	5,478kgを2%削減	5,368kg	リサイクルの推進の徹底
コピー紙・使用量の削減	122,500枚を2%削減	120,000枚	枚数の制限・裏表利用を義務付ける
缶類、廃プラ、金属等削減	0.20kgを2%削減	0.196kg	分別仕分けと一層の削減に努める
事業系一般廃棄物の削減	2,290kgを2%削減	2,244kg	リサイクルの推進を社内に徹底する
排水量・削減	768m ³ を2%削減	753m ³	屋外の水の使用制限の徹底
社長が取上げた環境負荷 低減商品の提供		グリーンプロジェクト対象商品	仕入先との提携強化
低減商品の販売 点数で表示		年間60点以上の商品販売	社内の意識向上を図る
定期・商品勉強会の実施		年間6回の勉強会の実施	勉強会後の行動結果を会議で発表
見える化・倉庫		年間2回(上半期・下半期毎) 全社員で取り組む	在庫品・取寄品の分別処理と整理
見える化・事務所		1/2半期毎・事務所内の 整理整頓の実施	不要不急の書類の整理及び廃棄処理

6.環境活動計画(平成22年度)

作成者	責任者	社長
藤井	稲垣克	稲垣

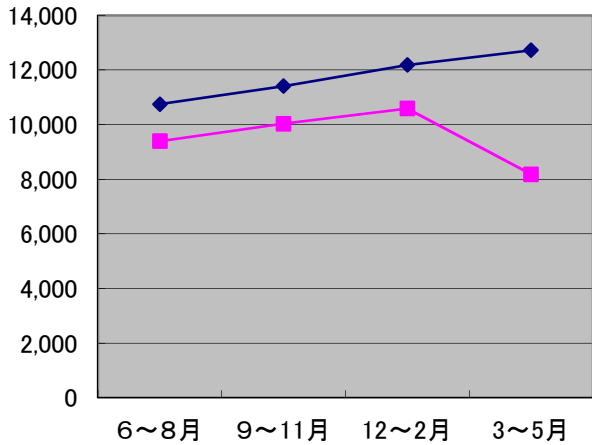
NO.1 各項目の評価査定は◎・△・Xで月毎評価

環境活動計画・項目	推進・窓口	数値	基準値	平成22年度環境活動計画値(平成21年6月1日より平成22年5月31日)											
			平成20年度	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
二酸化炭素排出量削減 単位:kg-co2	稲垣常務	目標値	1.8%削減	7.700	8.098	8.750	8.015	8.468	7.640	7.343	7.543	5.667	6.365	6.445	6.485
		実績値	90.142	8.788	9.763	8.546	7.885	8.165	7.372	7.232	6.889	5.666	5.962	6.355	5.117
		総合評価	◎	X	X	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
電力使用量の削減 単位:kwh	担当責任者 青木・磯部	目標値	2.5%削減	3.547	3.650	3.550	3.990	3.870	3.550	3.540	4.530	4.110	4.270	4.120	4.330
		実績値	48.264	3.032	3.280	3.079	3.749	3.177	3.106	3.324	4.472	2.792	2.641	2.635	2.904
		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
照明の消灯	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
冷・暖の温度設定		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
PC等の省エネ対策	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		総合評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ガソリン使用量の削減 単位:L(リットル)	担当責任者 高山・清水	目標値	2%削減	2.111	2.167	2.410	2.180	2.440	2.090	1.948	1.996	1.305	1.373	1.443	1.432
		実績値	23.361	2.678	2.956	2.400	2.164	2.428	2.064	2.010	1.837	1.526	2.116	1.890	1.330
		評価				◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎
アイドリングストップ	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	△	◎	△	△	△	◎
アクセル操作		評価				◎	◎	◎	◎	△	◎	△	△	△	◎
営業ルートの見直し	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	◎
		総合評価	X	X	X	◎	◎	◎	△	◎	X	X	X	◎	
軽油使用量の削減 単位:L(リットル)	担当責任者 高山・清水	目標値	2%削減	505	592	640	500	460	500	514	405	362	545	535	441
		実績値	6.121	492	582	639	493	455	485	499	356	407	400	370	355
		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アイドリングストップ	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アクセル操作		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		総合評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	X	◎	◎	◎
廃棄物排出量の削減 単位:kg	安本係長	目標値	2%削減	447	447	447	447	447	447	447	447	447	447	447	451
		実績値	5.478	440	450	435	440	410	420	410	425	400	410	420	420
		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		総合評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
コピー紙使用量の削減 単位:枚数	担当責任者 稲垣・杉山	目標値	2%削減	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績値	122,500	9,500	9,500	9,500	9,500	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	9,500	10,000	9,000
		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
裏表利用	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
情報処理・PC活用		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
リサイクル分別処理	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		総合評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
缶類・廃プラ・金属・ガラス 等の削減・1/4半期処理	担当責任者 柴田・八木	目標値	2%削減			0.049				0.049		0.049			0.049
		実績値	0.2kg			0.033				0.032		0.023			0.04
		評価				◎				◎		◎		◎	
梱包材・PPバンド等区分	具体・項目	評価				◎				◎		◎		◎	
事業ゴミと産業廃棄物分別		評価				◎				◎		◎		◎	
缶類の分別	具体・項目	評価				◎				◎		◎		◎	
		総合評価	◎			◎				◎		◎		◎	

NO.2

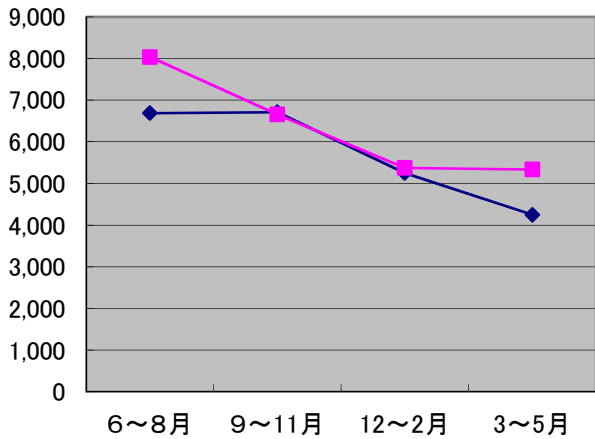
環境活動計画・項目	推進・窓口	数値	基準値	平成22年度環境活動計画値(平成21年6月1日より平成22年5月31日)																	
			平成20年度	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
事業系一般廃棄物の削減 単位: kg リサイクル・分別処理 緩衝材の軽減策 古紙の分別	担当責任者	目標値	2%削減	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187				
	柴田・八木	実績値	2,290	120	135	150	143	144	145	130	145	120	125	130	140						
	具体・項目	評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		評価				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
評価					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
評価査定			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
排水量の削減 単位:m3 利用制限 トイレの節水 節水コマに交換	担当責任者	目標値	2%削減	126			126			126			126			126					
	稲垣課長	実績値	768	110			120			104			117			119					
	具体・項目	評価					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		評価					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
評価					X	X	X	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
評価査定			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
社長が取り上げた環境負荷低減商品の提供																					
低減商品の販売 点数で計画	稲垣常務	目標値	60点数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5				
		実績値		4	4	4	5	5	4	6	6	5	5	5	5	5	5				
評価査定			◎			△	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
商品勉強会の実施	稲垣常務	目標値	年間6回	1回目			2回目			3回目			4回目			5回目			6回目		
				8月10日			11月12日			1月21日			3月9日			4月2日			5月6日		
	勉強会	日程		説明会実施			北越工業			赤松電機			オーデン			昭和電機			岩崎電気		
評価査定			◎			◎			◎		◎		◎		◎		◎				
見える化・整理整頓 商品倉庫	担当責任者	計画	年間2回	見直・実施																	
	天野・高田																				
在庫品・取寄品の見直し 並びに整理と即売	具体・項目	評価		◎																	
		総合評価	◎	◎																	
評価査定			◎	◎																	
見える化・整理整頓 事務所	担当責任者	計画	年間2回	大掃除																	
	天野・高田																				
不要不急の書類の整理 並びに廃棄処理	具体・項目	評価		◎																	
		総合評価	◎	◎																	
検印	環境管理責任者			稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克	稲垣克				
検印	社長			稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣				

電力使用量の削減



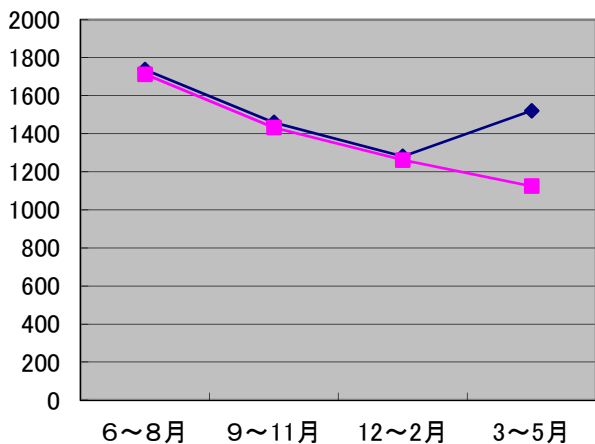
目標値		結果	判定
削減%	2.50%	11%	◎
目標数値	47,057kwh	38,191kwh	
評価(問題点) 昭和ビル・1Fは会社使用、2F&3Fはテナントの為の区分けが明確になされてなかった。 この機会に明確にする事出、使用実態を把握して取組む事が年間を通して行った。			
是正処置及び予防処置 実態の数字の把握を知る事で、弊社並びにテナント会社に対しても指導する事が出来た結果である。			
環境管理責任者 経費削減の一環であり、社内に浸透させて行く。			検印 稲垣克

ガソリン使用量の削減



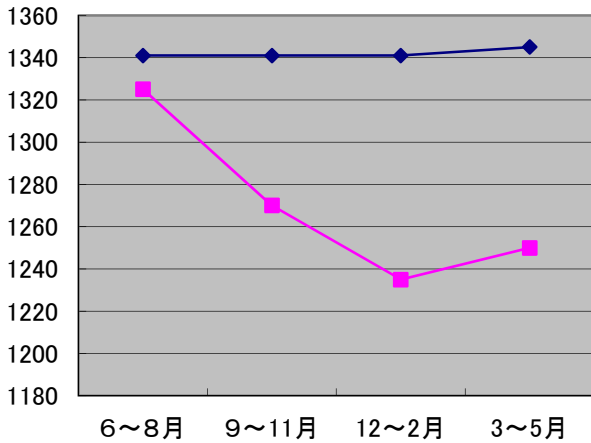
目標値		結果	判定
削減%	2%	109.00%	✕
目標数値	22,895L	25,399L	
評価(問題点) 3月以降、営業強化策で沼津地区及び九州市場の市場開拓を実施した為に営業車の燃費が増大した事で、目標値を大幅に超えた。			
是正処置及び予防処置 当初は、全く計画に無い状況での数値目標であり混迷する業積の拡大を第一に取組んだ結果だが次回は走行距離に対する効率を主眼に相対的には、削減を継続したい。			
環境管理責任者 走行距離及び売り上げ実績を加え営業効率のアップを図る事			検印 稲垣克

軽油使用量の削減



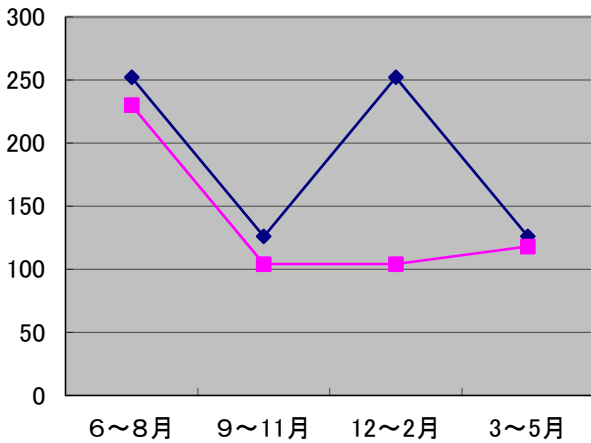
目標値		結果	判定
削減%	2%	10.00%	◎
目標数値	5,999L	5,533L	
評価(問題点) 年間を通じて、目標値を下回る事ができた。			
是正処置及び予防処置 今年度は、軽油使用車をガソリン車に変更する。そして、配送のコスト削減を実施する。			
環境管理責任者 配送コストの削減、営業車ででの便乗配達を心がける事。			検印 稲垣克

廃棄物排出量の削減



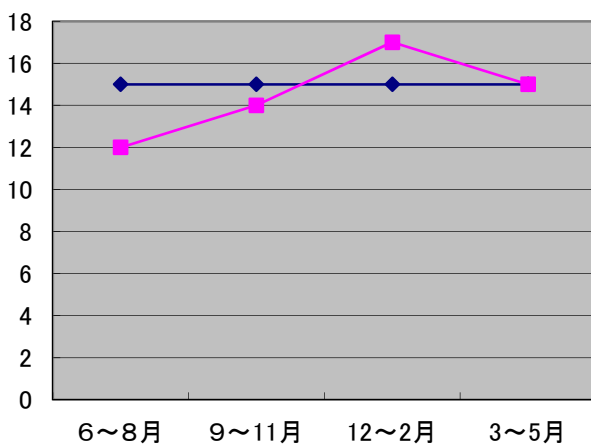
目標値		結果	判定
削減%	2.00%	7%	◎
目標数値	5,368kg	5,080kg	
評価(問題点) 年間を通じて、コピー用紙の削減・産業廃棄物、一般廃棄物の削減が社内に浸透した結果である。			
是正処置及び予防処置 FA機の新機種に変更する事でペーパーレス無駄なファックスの出力を軽減する。			
環境管理責任者 ペーパーレスの社内運動を更に強化推進させる事。			検印 稲垣克

排水量の削減



目標値		結果	判定
削減%	2%	10.00%	◎
目標値	756m ³	688m ³	
評価(問題点) 目標値を大幅に下回る事が出来た。節水コマの設置が効果として現れた。			
是正処置及び予防処置 新社屋になっても引続き社内運動を高める。			
環境管理責任者 水道水も経費がかかっている事を自覚させるが重要だ。			検印 稲垣克

環境負荷低減商品の提供



目標値		結果	判定
販売点数	60点	58点	◎
勉強会の実施	6回	6回	
評価(問題点) 年間6回の定期開催を実施できた。販売点数は、勉強会下商品は、実績報告は少なかったが、他の環境低減商品の販売には成果が現れた。			
是正処置及び予防処置 勉強会で商品の販売を第一に目標して取り組む。 新社屋の営業フロアを「見える化」を推進			
環境管理責任者 必要外の書物は、全て整理、整頓 倉庫の環境整備を実践の事			検印 稲垣克

8.環境関連法規等への違反・訴訟の有無

1、環境関連法規等の遵守状況

(1) 当社に該当する環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。平成22年5月31日 環境管理責任者 稲垣克晃

(2) 該当環境関連法規等と遵守状況

No	該当法規等	該当事項	遵守事項	遵守状況
1	◎下水道法 ●静岡市下水道条例	①使用開始・休止・廃止した時は、遅滞なく届出 ②汚水量に応じて基本料金・従量使用量を支払う ③汚水量の算定 水道水の使用量	①水洗便所の水及び生活用水を公共下水道に排水 ②水道料金・下水道料金を支払い（約128m ³ /月）	遵守
2	◎騒音規制法 ○静岡県生活環境の保全等に関する条例	①県条例に基づく特定施設の届出 ②騒音の規制基準	①特定施設の届出 ・ボール盤 2台 ・高速切断機 1台 ・研磨機 1台 ・冷凍機(空調機) 6台 ②第3種区域(近隣商業地域) ・昼間 8:00~18:00 65dB ・朝/夕 6:00~8:00 60dB 18:00~22:00 ・夜間 22:00~6:00 55dB	遵守
3	◎廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ●静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	①事業系一般廃棄物 ・市許可業者 - 一般廃棄物収集運搬業者・一般廃棄物処分業者に委託する ②産業廃棄物 ・産業廃棄物の保管基準 - 飛散・流出等の防止及び表示(60cm×60cm以上) ・県許可業者 - 産業廃棄物収集運搬業者・産業廃棄物処分業者に託する ・書面で委託契約 ・ manifests の交付及び管理 ・ manifests 交付状況報告 - 前年度分を6月30日までに ③市条例 ・産業廃棄物管理責任者の設置 ・収集運搬・処分の委託先の実地確認する - 1回/年	①委託先 ・リサイクル可能な紙類・段ボール等はNPO法人ポコアポコに委託 ・厨芥ごみ - 丸徳商事(有)に委託 ②産業廃棄物の管理 ・保管場所を設置して産業廃棄物置場の表示 実施 ・産業廃棄物の収集運搬及び処分を県許可業者 丸徳商事(有)と委託契約 実施 ・産業廃棄物管理責任者 - 安本係長 ③市条例対応 ・産業廃棄物管理責任者 - 安本係長 ・平成22年度・H22・1・16 実施済み	遵守

2、訴訟等の有無

過去 3年間に於いて関係機関からの指摘、地域住民等 利害関係者からの訴訟もありませんでした
- 平成22年5月31日 環境管理責任者 稲垣克晃

9.環境問題の是正処置・予防処置

監視・測定項目	ガソリン・使用量の削減
監視・測定者 (報告者)	事務局 藤井義人
発生日時／報告日時	平成22年3月～5月・期間の削減目標が未達成に終わった。
問題事項 (内容・状況)	<p>今期のガソリンの削減目標を22,895L・削減目標2%でスタートさせ 6月～8月は、目標値6,688Lに対し実績値は、8,034Lであり社内に対し 営業効率の徹底,長期出張の時は、目的地までは新幹線等を活用を義務付け 現地ではレンタカー使用する手段で、燃費の削減する様に指示を行った。</p> <p>その結果、9月～11月は、目標値6,710Lに対し実績値は、6,656Lで 終了する事が出来た。 12月～2月は目標値5,249Lに対し実績値は、5,373Lで若干オーバーした。 3月～5月は目標値4, 248Lに対し実績値5,336Lとなりました。 4/4半期は、大幅に目標値を上回ってしまい、達成が出来なかった。 年間目標値22,895Lに対し、実績数値は25,399Lで終了した。</p>
原因	2月以降、営業の強化策で、沼津地区並びに九州市場を開拓 する方針が決定され、営業車の燃費が大幅に増大した。 この事が、最大の要因である。
是正処置 環境管理 責任者・社長	<p>単純に前年対比で判断するのではなく、売り上げ実績並びに 走行距離を加味した、営業効率を参考にして対処して行く。 軽油、及び燃費効率の悪い車種の変更を検討する。 3台を廃車して、軽自動車に変更する予定(平成23年度)</p>
予防処置 環境管理 責任者・社長	走行距離と担当者個人の売上額を比較して営業効率を高める 対策を指示しました。

社長	管理責任者	作成
稲垣	稲垣克	藤井

10・代表者による全体の評価及び見直し

社長
稲垣

運用期間 平成21年6月～平成22年5月

1. 全体の評価

平成22年 5月 31日

評価・確認内容	評 価
環境経営システムは有効に機能しているか	年間を通して、二酸化炭素排出量の削減について理解と協力を得る事が出来た。更に密度の濃い、環境経営マニュアルを全社員に徹底を図る。
環境への取組は適切に実施されているか	年間を通し、幹部が「環境経営マニュアル」に基づき、二酸化炭素排出量の削減に取組み、目標値を下回る結果となった。 平成22年10月より、新社屋に移転時に見直しを行う。

2. 見直しおよび変更指示

項 目	評 価
環境目標	二酸化炭素排出量の削減は達成する事が出来た。 項目の中で、ガソリン使用量の削減について期中に営業戦略上、営業車を導入した事で、この項目のみ達成できなかった。
環境活動計画	全社員に対し、年間の環境活動計画を推進する。
環境経営システム	「環境経営マニュアル」を全社員に周知徹底する。
その他	環境経営システムを営業戦略にも活用し「P・D・C・A」実践する。

<全体評価のための個別評価>

項 目	評 価
環境負荷自己チェック	年間の数値目標を計画通り達成をさせる事が出来た。
環境取組自己チェック	第一回目＆第二回目の環境への取組みの自己チェックを行い、各項目で重要項目を抽出し、早急に取り組み年間を通じて実践する事。 平成23年度も、継続社内の意識高揚を高める事。
環境目標達成状況	環境項目二酸化炭素排出削減「3項目」廃棄物排出量の削減「4項目」については、全て達成が出来てが更に年間継続し達成する事。 環境負荷低減商品の販売と勉強会は、60点数&6回を推進している。
環境活動計画の達成状況	環境目標では、二酸化炭素排出削減は、年間達成する事が出来たが項目の中で、ガソリン使用量の削減が、未達成に終わった。 厳しい環境の中で、業績の確保の為の対策として、沼津地域・九州市場へ営業員の投下を実施結果、ガソリンの使用量が増大した。
該当環境関連法規等の遵守及び制定改廃状況	年間を通し、環境関連法規への違反は無かった。
教育・訓練の実施状況	朝礼等で、実施説明と訓練を行い、非常時に対し夫々の責任者が的確な指示、連携を取り緊急時の対応を書面化し緊急時に備える事。
外部とのコミュニケーション状況	周辺・近隣や自治体などからの苦情は、一件無かった。 今後も、更に外部とのコミュニケーションを大切に行動する事。
規定類、手順書等の関連文書及び関連記録の最新版管理の状況	環境経営マニュアルの運用を徹底する。